



日本観光ホスピタリティ教育学会学会報

通巻 第43号 発行 2016年4月26日

◇学会事務局：杏林大学外国語学部 古本泰之、野口洋平
〒181-8612 三鷹市下連雀 5-4-1 杏林大学外国語学部に
Tel 0422-47-8000 (代表) Fax 0422-47-8077 (共用)
email: jimmu@jsthe.org ◇学会 URL : <http://jsthe.org>
◇編集・発行人：野口洋平 (noguchi@ks.kyorin-u.ac.jp)

【2016 年度総会のご案内】第一報

2016 年 6 月 4 日 (土) に、跡見学園女子大学文京キャンパスにおいて、産官学地連携をテーマに、2016 年度総会・講演会を開催します。講演会およびシンポジウムには、会員外の方も無料でご参加いただけます。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

詳しくは今後発送される正式な総会案内をご覧ください。また、最新情報は学会ウェブサイト (<http://jsthe.org>) に随時掲載します。

1. 開催日 2016 年 6 月 4 日 (土)

2. 会 場 跡見学園女子大学文京キャンパス
〒112-8687 東京都文京区大塚 1-5-2
<http://www.atomi.ac.jp/univ/about/campus/bunkyo.html>

3. 日 程

10:30～12:30 理事会
12:30～13:30 評議員会
13:30～ 受付
14:00～14:05 開会式
14:05～14:55 総 会
15:10～16:10 講演会

<現在調整中>

16:25～17:55 事例報告・シンポジウム
<現在調整中>

17:55～18:00 閉会式
18:10～ 懇親会

※ プログラム内容・時間・教室等は変更する場合もありますので、ご了承下さい。

4. 参加費・懇親会費

<参加費>

会員・準会員・一般・学生とも無料。

講演会・シンポジウム・懇親会には会員外の方もご参加いただけます。(要事前申込み、懇親会のみ有料)

<懇親会費>

会員・一般：4,000 円 準会員・学生：3,000 円

※大会当日に受付でお支払い下さい。

5. 参加申込書・委任状の手続き

会員：後日郵送するご案内に同封するハガキにて、総会・講演会の出欠等、必要事項をご記入の上、期限までに郵送して下さい。総会を欠席される方はハガキに記載された委任状へのご記入・ご提出をお願い致します。

会員外：会員外で参加を希望される方は、学会ウェブサイトにて申し込み手順を掲載しますので、メールまたは FAX にて申し込みをお願いします。(<http://jsthe.org> 5 月中旬までに掲載予定です)

参加申込・委任状締切

2016 年 5 月 30 日 (月) (必着)

<学会事務局>

〒181-8612 東京都三鷹市下連雀 5-4-1 (移転しました)
杏林大学外国語学部に
日本観光ホスピタリティ教育学会事務局
担当：古本泰之、野口洋平
電話：0422-47-8000 (代表)
FAX：0422-47-8077 (共用)
e-mail : jimmu@jsthe.net

6. その他

2016 年度総会・懇親会のご案内は、学会ウェブサイトからもダウンロードできるよう準備中です。

学会ウェブサイト：<http://jsthe.org>

【理事会報告】

＜2015 年度 第 5 回定例理事会＞

- (1) 日時：平成 28 年 2 月 27 日（土）10:30～12:30
- (2) 場所：立教大学新座キャンパス 8 号館 4 階 N841
- (3) 出席者：小畑会長、浅岡副会長、宍戸副会長、鈴木泰夫理事、鈴木涼太郎理事、館野理事、丹治理事、野口理事、古本理事、安島監事、吉田監事、峯俊幹事（委任状 3 通）
- (4) 議事
 - 1) 第 15 回全国大会について
 - ・ 丹治総務担当理事から、当日の内容、予算案について説明があり、承認されました。
 - 2) 2016 年度総会・講演会について
 - ・ 安島監事より、跡見学園女子大学の会場利用についての説明がありました。
 - ・ 丹治総務担当理事から内容案に関する説明がありました。
 - ・ 「産官学連携」をテーマとして検討していきます。
 - ・ 6 月 4 日（土）に跡見学園女子大学・文京キャンパスで実施します。
 - 3) 編集委員会報告
 - ・ 資料に基づいて浅岡委員長から説明がありました。
 - ・ 機関誌第 9 号を発行したことが報告されました。
 - ・ 編集作業において海老澤理事に臨時委員として、一部の業務を依頼しました。
 - ・ 今後の全国大会、総会等の抄録作成については、編集委員会に限らず、理事会メンバー等で分担して行うこととします。
 - ・ 委員会メンバーについて、委員長、副委員長が理事であることが必要なため、6 月の理事改選まで現体制で継続します。
 - ・ 委員会規定に定める委員の任期（委員の交代）について、今後は総会のタイミングに合わせることになりました。
 - ・ 機関誌第 10 号の予定について説明がありました。
 - ・ CiNii への対応について確認がありました。
 - ・ J-STAGE への移行について、今後ワーキンググループで準備を進めます。
 - 4) 広報委員会報告
 - ・ 野口委員より Facebook と Twitter の開設について報告がありました。
 - ・ 管理体制について 5 月の理事会で提案することになりました。
 - 5) 総務委員会報告
 - ・ 会員情報の収集を引き続き進めていきます。
 - 6) 倫理委員会報告
 - ・ 進捗状況について、村上委員長からの伝言が紹介されました。
 - ・ 他学会の動向を参考にしながら進めていく予定です。

す。

- 7) 新規事業ワーキンググループ報告
 - ・ 宍戸委員長より説明がありました。
 - ・ 広報委員会と連携しながら進めていく予定です。
 - ・ 委員メンバーを検討し、次回理事会にて提示します。
- 8) 研究会について
 - ・ 丹治総務担当理事より説明がありました。
- 9) 入退会審査
 - ・ 資料に基づいて古本理事より説明がありました。
 - ・ 入会：正会員 長谷川修
 - ・ 退会：正会員 大瀬裕之
 - ・ 審査後の会員数は 162 名（正会員 149 名、準会員 9 名、特別会員 1 団体、名誉会員 3 名）です。
- 10) 役員改選について
 - ・ 役員改選の進め方と進捗状況について、候補者選定担当の宍戸副会長、丹治理事より報告がありました。
- 11) その他
 - ・ 次回理事会および理事会を 5 月 7 日（土）に関東にて開催します。
 - ・ 古本理事より事務局の杏林大学のキャンパス移転について説明がありました。

（以上）

【第 15 回全国大会報告】

2016 年 2 月 27 日（土）、2 月 28 日（日）の日程で第 15 回全国大会が行われました。開催にあたっては、会場校の立教大学の教職員の皆さま、立教大学大学院の学生の皆さん、東海大学の学生の皆さんに多大なるご協力をいただきました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

大会テーマ：観光ホスピタリティ教育における高大接続～高校教育と大学教育の改革と接続、そして新テスト～

1. 主 催：日本観光ホスピタリティ教育学会
2. 開催日：2016 年 2 月 27 日（土）、2 月 28 日（日）
3. 会 場：立教大学新座キャンパス
4. 実行委員長：立教大学 橋本俊哉

2 月 27 日（土）は、理事会、開会式のあと研究・教育実践論文の発表が行われました。そのあと「高校教育と大学教育の改革と接続、そして新テスト」のタイトルでリクルート進学総研所長、『カレッジマネジメント』編集長の小林浩氏からの基調講演がありました。続いて、「アサーティブプログラムとアサーティブ入試 ～「答え」は、目の前の学生から～」のタイトルとで、追手門学院大学アサーティブオフィサーの志村知美氏から実践報告がありました。さらに、同テーマのシンポジウムが行わ

れ、話題提供・モデレーターの小畑力人氏（追手門学院大学社会学部長・教授、本学会会長）、パネリストの村上和夫氏（立教新座中学校・高等学校 校長、本学会前会長）、志村知美氏（前掲）が登壇しました。最後に懇親会が行われました。

2月28日（日）は、ワークショップに先だって、藤田観光株式会社、川村学園女子大学 丹治朋子氏他による「産学連携によるアクティブラーニングの推進 ～藤田観光（株）と川村学園女子大学の包括的連携を事例に～」、横浜商科大学 宍戸学氏による「社会人の学び直しのための観光ホスピタリティ教育」の2件のワークショップ話題提供が行われました。続いてワークショップ分科会が行われ、テーマ別に「観光ホスピタリティ教育における高大接続」、「産官学地連携によるアクティブラーニング」、「観光ホスピタリティ教育における社会人教育」に分かれて活発な意見交換が行われました。その後、ワークショップ報告会が行われました。最後に閉会式が行われ、大盛況のうちに全国大会を終えることができました。

【研究会のお知らせ】

専門家よりこの春の入試の結果からみる傾向についてと、特に観光系大学・学部の募集の状況等について、解説していただきます。学会員以外の方にもご参加いただけます。お申し込みをお待ちしております。

テーマ：2016年度の入試結果と観光系大学・学部の動向
講師：中島由起子氏（河合塾 教育研究部）

日時：2016年5月7日（土）15:00～17:00

会場：跡見学園女子大学 文京キャンパス

（<http://www.atomi.ac.jp/univ/about/campus/bunkyo.html>）

参加費：500円（資料代含む）

対象：通常、研究会は会員のみを対象としておりますが、今回は会員以外の皆さまにも広くご参加いただけます。

定員：50名

参加希望の方は、メールにてお申し込みください。

宛先：t.tanji@kgwu.ac.jp（川村学園女子大学 丹治朋子）

件名：研究会参加希望

本文：ご所属、氏名、電話番号を明記して下さい。

【観光ホスピタリティ教育の動向】

「杏林大学が新・井の頭キャンパスを開設」

学校法人杏林学園（理事長 松田博青）が設置する杏林大学（学長 跡見裕）は、大学創立50周年を記念して、2016（平成28）年4月、東京都三鷹市下連雀に新・井の頭キャンパスを開設しました。

これまで八王子キャンパス（東京都八王子市宮下町）にあった総合政策学部、外国語学部、保健学部、大学院

のすべてが移転し、すでに今年度の授業等が開始されています。学園本部、医学部、保健学部（看護学科看護学専攻）のある三鷹キャンパス（三鷹市新川）からも近く、主な最寄り駅として三鷹駅、吉祥寺駅（JR、京王井の頭線）、調布駅（京王線）、仙川駅（京王線）などがあります。全学部が三鷹に集結することで、4学部の連携がよりいっそう強化され、中規模総合大学の利点を生かした教育・研究が展開されることが期待されます。

新キャンパスは、保健学部棟（A棟、B棟）、本部・図書館棟（C棟）、総合政策学部・外国語学部研究棟（D棟）、総合政策学部・外国語学部教室棟（E棟）、医学部・共用棟（F棟）からなっており、大学建築としては珍しく建物全6棟が免震構造となっています。

杏林大学における観光ホスピタリティ教育については、外国語学部外国語学科国際観光専攻、同応用コミュニケーション学科観光文化コースを経て、2010年4月に外国語学部観光交流文化学科が設置されました。また、2015年4月には、外国語学部英語学科の英語ビジネスコミュニケーションコースの学生を対象に、観光ホスピタリティ教育を開始しました。



本部棟・図書館棟（C棟）



マルチメディア教室



トレーニングルーム (F棟)



新キャンパスへの交通アクセス

キャンパス移転を契機に、よりいっそう観光・ホスピタリティ教育を充実させるとともに、英語や中国語など外国語を専攻する学生のあいだで高まる観光ホスピタリティ教育への期待にも応えていきます。

情報提供 野口洋平 (杏林大学外国語学部)

【新刊書紹介】

『旅行産業論』

本書は、立教大学観光学部で2013年より開講している「旅行産業論」「旅行業経営実務」の講義内容を、同学部内に設けた旅行産業研究会において精査し、旅行産業の実態を俯瞰できるよう再構成するとともに、立教大学の教員を中心としたメンバーにより学術的、俯瞰的視点からの論説を加えたものです。旅行業をこれから目指す方をはじめ、旅行・観光産業に携わる方にとって、旅行業をより立体的、客観的に把握でき、旅行業の全体像を学ぶことのできるものとしています。

(公益財団法人日本交通公社ウェブサイトより引用)

発行年月：2016年2月

編著：立教大学観光学部旅行産業研究会

(執筆者のうち本学会会員：村上和夫氏、橋本俊哉氏、野口洋平氏)

発行：公益財団法人日本交通公社

判型・ページ数：A5判 218ページ

価格：本体価格 2,000円＋税

(Amazon.co.jpにてPOD版を発行中)

【事務局所在地移転のお知らせ】

2016年4月1日、杏林大学外国語学部のキャンパス移転により、次のとおり学会事務局の住所等が変更になりました。

日本観光ホスピタリティ教育学会
事務局 (古本泰之、野口洋平)

新住所 〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1
杏林大学外国語学部内

新電話 0422-47-8000 (代表)

新FAX 0422-47-8077 (共用)

メール jimmu@jsthe.org

ウェブサイト <http://www.jsthe.org>

Facebook <https://www.facebook.com/jsthe.org>

Twitter <https://twitter.com/JSTHEducators>

【編集人より】

ニューズレターでは、会員の皆さまから提供された観光ホスピタリティ教育の情報や書籍紹介を掲載しております。書籍紹介は、原則として本学会会員が執筆した発行から2年以内の書籍(定期刊行物を除く)を扱います。ぜひ、情報を編集人までお寄せ下さい。

ご協力をお願いします。

編集・発行人 野口洋平 (杏林大学)

E-Mail : noguchi@ks.kyorin-u.ac.jp

FAX : 0422-47-8077 (大学共用)

【学会 SNS アカウント】

Facebook

<http://www.facebook.com/jsthe.org/>

Twitter

<http://twitter.com/JSTHEducators>